

# 第5章 愛媛の現状と社会の転換

## 1. 愛媛道ビジョンの背景 — 量的不足と転換期のはざままで

### なぜ **重点化** Priority & **効率化** Effect なのか？

この「愛媛道ビジョン」では、第4章までで示した、愛媛の道づくりの「基本方向」や「整備施策」に加えて、「どのように整備を進めていくのか」という点にも重点をおいています。

これは、いまの日本社会の状況や愛媛の実状から考えると、整備施策や方針を立てても、従来と同じやり方では愛媛の道づくりを示しきれないと考えたからです。

また、我々が、愛媛の道路行政をどう変えていきたいと考えているか、道ビジョン策定の背景からも皆さんに知って欲しいと思ったからです。そこで、この第5章からは、この道ビジョンの柱とした「重点化」と「効率化」、そして「わかりやすい成果重視の指標」について、紹介することとしました。

### 日本社会の転換期 ～ 成熟型社会への移行

社会基盤の状況について、道路の整備状況に着目してみますと、日本全国の国県道の96%が舗装され、国道の約90%、国・都道府県道の約70%で大型車のすれ違いができる程度まで改良されており、全国的な平均だけを見れば「一定の量的ストック」は形成されているように見えます。このため全体的な視点で見れば、道路整備は、初期の時代のように、全ての地域で画一的な量的整備を行えば必ず大きな効果が得られるとは言い難い状況になっていると考えられます。

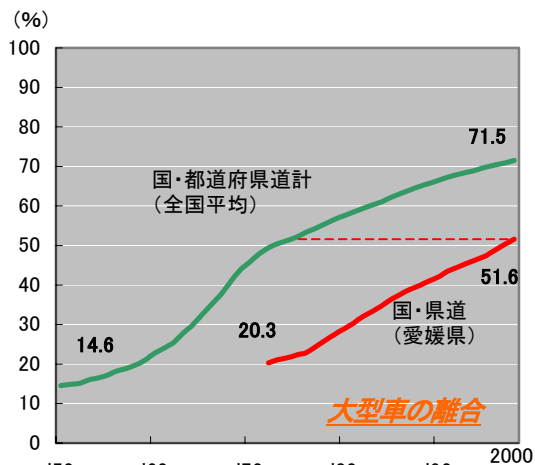
つまり、画一的な量的整備のシステムは、国民のより高度な質的機能に対する要求や経済状況の変化、社会システムの変化に的確に対応できなくなっており、今後の成熟型社会においては、全ての地域にとっての最適な社会システムではなくなってきているといえます。

### 全国平均の中に内在する量的不足

全国平均的には、ある一定の量的ストックが形成されているといわれている道路ですが、愛媛県においても同様のことが言えるのでしょうか。右上のように、全国平均の国・都道府県道の改良率のグラフに愛媛県の状況を重ねてみますと、愛媛県では、国・県道の約半分で大型車のスムーズな離合が困難な状況であり、全国ベースの20年以上前の状況といえます。また、右の2つの円グラフを見ますと、国・都道府県道の改良率が全国平均を上回る地域（都道府県）は、人口では約7割を占めておりますが、道路延長では半数を割っており、平均の中には量的不足の地域が内在しているといえます。

全国を総括すると道路は量的に満たされており、多くのひとはその効果を楽しむことができます。ただし、愛媛県をはじめ道路整備が遅れている地域では、まだまだ、「量的不足」もひとつの大きな課題と考えられます。

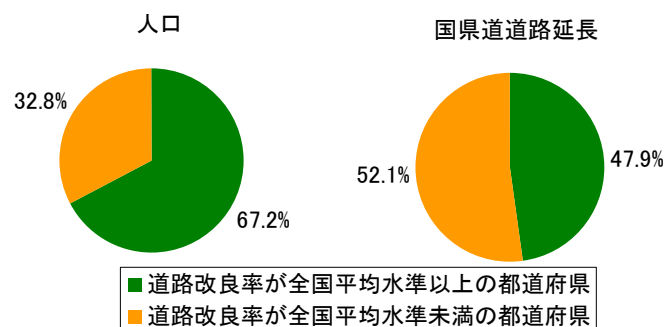
●道路の舗装率・改良率(幅員 5.5m以上)の推移の比較



資料：国土交通省監修「道路統計年報」より作成

注) 1975年以降は年度当初の数値、その他は年度末の数値である。

●改良率の全国水準を下回る地域の構成比



資料：「道路統計年報 2002」国土交通省道路局監修より作成

## でも、もう「遅れている」と言うだけではない！

### 愛媛道ビジョンのアイデンティティ

日本社会全体が成熟型社会へと移行しつつあり、道路整備全体が転換期を迎えている「今」、量的不足を抱える愛媛県であっても、もう「遅れている」と言い続けるだけではない時代となっています。これからは、道づくりをどのように進めていくべきでしょうか。

平成14年6月に実施された全国の世論調査では、これから先、生活が良くなっていくと答えた人はわずか8.5%であり、日本社会に大きな閉塞感が蔓延していると言われていています。平成14年1月に愛媛県で実施した県民の世論調査でも、同じく良くなっていくと答えた人は7.9%と、まさに「元気が出せない」状況が感じられます。これは、厳しい財政事情へも表れており、愛媛県も含めた日本全体がひとつの転換期にきていると考えられます。

これまで、日本の道路整備は量的不足の解消を至上命題として進めてきました。その結果、量的不足は一定レベルまで解消したものの、社会のニーズを十分に反映した道路整備ではなかったことから、これまで進め方を反省し、今後は量的充足から成果重視へと転換しようとしています。

愛媛県では量的不足が解消したと言えるレベルまでは、まだ達していません。しかし、社会情勢や財政状況は全国同様に転換期を迎えており、愛媛県は量的不足や県民のニーズと社会の転換期のはざまに立っている状況であると言えます。これらのことから、今、愛媛県の道路行政に求められていることは、限られた道路予算の中で、県民のニーズに応えた道路整備を効率的に実施して、成果を重視した整備をすすめながら量的不足を解消していくことだと考えています。

そこで、愛媛県では、新たに、「重点化」と「効率化」という道路整備の手法を大きな柱とし、「事業のスピードアップ化」や「成果の重視」を目指した施策、整備指標を策定することで、県民の満足度の向上を目指し、「元気の基盤づくり」を進めることとしました。これが、新しい愛媛道ビジョンのアイデンティティです。

●道ビジョン策定の背景の概念図

